

単語の性質「品詞」について確認しよう②

一、次の①～③の文を例にならって単語に分けましょう。

例 日本一で一番高い山一は富士山一です。(一は区切りを示します。)

- ① 千葉県は千葉県にありません。
- ② 千葉県には三十六の市と十六の町と一つの村があります。
- ③ 千葉県は全国でも有数の農産物の産地です。

※ まず、文節に分けましょう。そして、さらに分けられるか、考えましょう。

二、次の①～③の文を単語に分け、() 内で指定された単語の品詞名を後の表から選び、書きましょう。

- ① 国内産の落花生の約八割が千葉県で生産されたものです。
(上から七番目の単語) ↓ 「 」
- ② 千葉県の梨の収穫量、産出額は日本一です。
(上から四番目の単語) ↓ 「 」
- ③ また、千葉県は産出額が全国で第二位のサツマイモの産地です。
(上から一番目の単語) ↓ 「 」
- ④ 「ふさがね」と「ふさおとめ」は千葉県が育成したお米です。
(上から七番目の単語) ↓ 「 」
- ⑤ チーバくんは千葉県の農産物が大好きです。
(上から七番目の単語) ↓ 「 」

品詞	品詞の説明
動詞	自立語で活用があり、主に述語になる。動作や存在を表す言葉で、言い切りの形がウ段で終わる。
形容詞	自立語で活用があり、主に述語になる。様子や状態を表す言葉で、言い切りの形が「い」で終わる。
形容動詞	自立語で活用があり、主に述語になる。様子や状態を表す言葉で、言い切りの形が「だ(です)」「で終わる。
名詞	自立語で活用がなく、主に主語になる。ものの名前や数量を表したり、指示したりする。
副詞	自立語で活用がなく、主に連用修飾語になる。状態や程度をくわしくしたり、指示したりする。
連体詞	自立語で活用がなく、専ら連体修飾語になる。状態や様子をくわしくしたり、指示したりする。
接続詞	自立語で活用がなく、接続語になる。前後を、順接、逆説、並立、対比・選択、説明、転換の意味でつなぐ。
感動詞	自立語で活用がなく、独立語になる。あいさつ、返事、掛け声など。
助動詞	付属語で活用があり、主に活用する語に付き、過去、否定、推定、希望などの意味を付けくわえる。
助詞	付属語で活用がなく、いろいろな語について、関係を示したり、接続したり、話し手の判断を示したりする。

関連問題

平成二十七年全国学力・学習状況調査
平成二十九年全国学力・学習状況調査

国語 国語

A9 A9
9三・四

単語の性質「品詞」について確認しよう②

一、次の①～③の文を例にならって単語に分けましょう。

例 日本一で一一番高い一山一は一富士山一です。(一は区切りを示します。)

- ① 千葉県一の一県庁一は一千葉市一に一あり一ます。
- ② 千葉県一に一は一三六の一市一と一十六の一町一と一一つ一の一村一が一あり一ます。
- ③ 千葉県一は一全国一で一も一有数一の一農産物一の一産地一です。

※ まず、文節に分けましょう。そして、さらに分けられるか、考えましょう。

二、次の①～③の文を単語に分け、() 内で指定された単語の品詞名を後の表から選び、書きましょう。

- ① 国内産一の一落花生一の一約八割一が一千葉県一で一生産さ一れ一た一もの一です。
(上から七番目の単語) ↓ 「**名詞**」
- ② 千葉県一の一梨一の一収穫量、一産出額一は一日本一一です。
(上から四番目の単語) ↓ 「**助詞**」
- ③ また、一千葉県一は一産出額一が一全国一で一第二位一の一サツマイモ一の一産地一です。
(上から一番目の単語) ↓ 「**接続詞**」
- ④ 「ふさがね」「と」「ふさおとめ」「一は」「千葉県一が」「育成し」「た」「お米一です。
(上から七番目の単語) ↓ 「**動詞**」
- ⑤ チーバくん一は一千葉県一の一農産物一が「一大好きです。
(上から七番目の単語) ↓ 「**形容動詞**」

品詞	品詞の説明
動詞	自立語で活用があり、主に述語になる。動作や存在を表す言葉で、言い切りの形がウ段で終わる。
形容詞	自立語で活用があり、主に述語になる。様子や状態を表す言葉で、言い切りの形が「い」で終わる。
形容動詞	自立語で活用があり、主に述語になる。様子や状態を表す言葉で、言い切りの形が「だ(です)」で終わる。
名詞	自立語で活用がなく、主に主語になる。ものの名前や数量を表したり、指示したりする。
副詞	自立語で活用がなく、主に連用修飾語になる。状態や程度をくわしくしたり、指示したりする。
連体詞	自立語で活用がなく、専ら連体修飾語になる。状態や様子をくわしくしたり、指示したりする。
接続詞	自立語で活用がなく、接続語になる。前後を、順接、逆説、並立、対比・選択、説明、転換の意味でつなぐ。
感動詞	自立語で活用がなく、独立語になる。あいさつ、返事、掛け声など。
助動詞	付属語で活用があり、主に活用する語に付き、過去、否定、推定、希望などの意味を付けくわえる。
助詞	付属語で活用がなく、いろいろな語について、関係を示したり、接続したり、話し手の判断を示したりする。